

国名(日本語)	バングラデシュ人民共和国
国名(英語)	People's Republic of Bangladesh



国名の由来	「ベンガル人の国」という意味。
国旗の由来	緑は青葉を、赤は太陽を表し、パキスタンからの独立のために戦った若者たちの意気と犠牲を象徴している。緑はイスラム教のシンボルカラーだが、イスラム教の象徴ではないと示すために、濃い緑を用いたといわれる。赤い円の位置は、風になびいても中央に見えるように少し旗竿側に寄っている。日の丸を参考に作られたといわれ、1972年に採用された。
1 面積	14万7千平方キロメートル(日本の約4割、バングラデシュ政府)
2 人口	1億5,940万人(2015年10月 バングラデシュ統計局)
3 首都	ダッカ
4 言語	ベンガル語(国語)、成人(15歳以上)識字率:59.1%(2015年10月 バングラデシュ統計局)
5 宗教	イスラム教徒89.7%、ヒンズー教徒9.2%、仏教徒0.7%、キリスト教徒0.3%(2001年 国勢調査)
6 豆知識	ベンガルトラはバングラデシュを象徴する動物。バングラデシュのほか、インド、ネパール、ブータンなどに分布するが、世界最大の生息地として特に重要な地域はバングラデシュとインドにまたがるガンジス川河口のスンダーバンズである。マングローブに覆われた1000kmもの広大な大湿地帯が広がり、両国がそれぞれの領土を国立公園に指定している。